

歳出

（町の支出）

質疑



しばらく耕作されていない畑

農林水産業費

耕作放棄地への対応は

議員

地域活性化センター事業の予算が激減しているが、耕作放棄地の解消への対応はどうなっているのか。

当局

山形県の耕作放棄地対策協議会で基金を造成し、各市町村に補助をする耕作放棄地再生利用緊急対策事業があり、活性化センターが事業主体となりこの事業に取り組む。

今後は、例えば活性化センター単独の上乗せ補助なども視野に入れ、関係機関と調整をしていきたい。

新規就農者育成支援事業の実状は

議員

新規就農者育成支援事業の概要と、事業に該当する方の有無を伺う。

当局

これまでは、町外からの就農者に家賃などを助成するものだった。

建築需要促進事業とは

議員

4年間実施した住宅需要促進事業から、建築需要促進事業の新規事業に変わった。事業の内容を伺う。

当局

請負契約額が19億を超え一定の効果があつた。

商工費

事業実施主体の商工会からは、新築を除く小規模工事の受注を促進する手だてはないかとのことだった。

工事の請負契約額の下限を20万円に引き下げ、個人経営

平成25年度は、それに加え技術指導を受けられるようになるもの。

平成24年度は、定住支援の部分で、該当者がいないというところ。町外から来たばかりの方が、認定就農者に申請するのは難しいため、応募要件の要項などの見直しをしていきたい。

の事業所が受注しやすい仕組みにしたもの。

今後の紅花の里づくりは

議員

紅花の里づくり推進事業を実施しての反省点と、今後の取り組みのあり方を伺う。

当局

大規模な面積を申請した方の育成不良や、観賞用紅花畑の面積の下限が20アールと高いことや摘み取り体験ができないとの指摘を受けた。

面積の下限を10アールにとの検討や、摘み取り体験では

観光客に対するおもてなしの視点で対応していきたい。

教育旅行の課題は

議員

教育旅行を各地区で受け入れているが、受け入れた地区内での課題を伺う。

当局

区単位など大きな枠組みでの受け入れは難しい状況。今後は、地域限定でいいかの検討や、受け入れのあり方も事前研修しながら取り組んでいきたい。



地域の協力をいただいての教育旅行